第28回秋田市都市計画審議会議事要旨

開催の日時 平成22年3月26日(金) 午前9時30分～11時30分

開催の場所 秋田市役所議場棟正庁

委員の定数 20人

出席委員 17人

議 事 議案第1号
秋田都市計画道路 3・4・11号新屋土崎線
秋田都市計画道路 3・5・36号外旭川新川線の変更
議案第2号
秋田都市計画道路 7・6・2号秋操一号線の変更
議案第3号
秋田都市計画地区計画 榎山石塚谷地地区計画の変更
議案第4号
秋田都市計画下水道 秋田市公共下水道(秋田地域)の変更
議案第5号
河辺都市計画下水道 秋田市公共下水道(雄和地域)の変更

議事

- 会長 これより審議に入る。
議案第1号秋田都市計画道路新屋土崎線、外旭川新川線の変更について、幹事から説明をお願いします。
- 幹事 (議案第1号の内容を説明)
- 会長 ただいま幹事から説明のあった議案第1号について何かご質問、ご意見等あるか。
- 委員 (発議なし)
- 会長 意見がないようなので、議決に移る。
議案第1号について、原案どおり異議なしとしてよろしいか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 議案第1号については異議がないことを答申する。
- 会長 次に議案第2号秋田都市計画道路秋操一号線の変更について、幹事から説明をお願いします。
- 幹事 (議案第2号の内容を説明)
- 会長 ただいま幹事から説明のあった議案第2号について何かご質問、ご意見等あるか。
- 委員 直線と右折のレーンしかないようだが、左折車はどうなるか。また、右折車線の長さはどのくらいか。
- 幹事 左折車は直進と同じレーンを走行する。また、右折レーンの長さは30メートルである。
- 委員 その30メートルという長さは何かの規定に基づいた設定か。
- 幹事 道路構造令上の規定で滞留長の最低限度が30メートルであり、交通量が多い場合などは長くなる。
- 会長 ほかに意見はないか。
意見がないようなので、議決に移りたいと思う。
議案第2号について、原案どおり異議なしとしてよろしいか。

委員 (異議なし)

会長 議案第2号については異議がないことを答申する。

会長 次に議案第3号秋田都市計画地区計画榎山石塚谷地地区計画の変更について、幹事から説明をお願いします。

幹事 (議案第3号の内容を説明)

会長 ただいま幹事から説明のあった議案第3号について何かご質問、ご意見等あるか。

委員 この地区には何棟ぐらいの住宅が建築される予定か。また、整備の完成はいつ頃か。

幹事 地区計画は宅地割りまで定めるものではないことから、今回の変更での宅地数は把握していないが、前回の決定では524戸を計画していた。また、整備時期の目標は設定していないが、開発業者が整備に着手するという予定をたてているようである。

会長 いつ頃着工するのか？

幹事 開発業者の話では、都市計画決定されれば、すぐにでも着手する予定と聞いている。

委員 変更理由書にも書かれているとおり、当地区は平成3年策定の第4次秋田市総合都市計画においての市街地候補地であり、将来人口40万人を目標としていた頃の計画によるものであるが、現在は第5次計画の見直しを行っている最中だと聞いている。第6次計画における考え方を教えてほしい。

幹事 ただいまのご意見は、現在の人口減少との矛盾についての指摘だと思うが、今回の変更後、おおむね5年以内に開発が行われない場合には、その後の線引き見直しの時期にあわせ、当地区についても市街化調整区域への変更について検討することとなる旨を変更の住民説明会でも話したところである。

幹事 平成10年の線引き見直し当時に12の開発計画があり、その内2箇所が着手はしているが未だ未完成であり、まったく手つかずの地区が当地区1箇所である。

当地区については、市街化区域編入当時から長期未着手の場合は、市街化調整区域への変更もあるという説明を地権者等にしてきたが、

今回、提案制度を活用し、開発事業者と地権者より具体的な開発計画が提案されたものである。

委員

今の質問と重複するが、平成3年の将来人口40万人の推計に基づいた計画であるので、人口が減少するなかでこの計画を変更するのはいかなものかと思う。

次に、戸建て住宅を購入するのは30代、40代の働き盛りの方が中心かと思うが、その方たちが近年どれだけ秋田市に流入しているかという具体的な数字があれば知りたい。その数字がわかっていなければ、造成しても人は入ってこないのではないか？

次に、戸建て住宅が主ということで、子育て世代が増えると思われるが、住民サービスとして理髪店や喫茶店とあるが、保育所や学校といった特に必要な公共サービスはどこに通うことになるのかお聞きしたい。

最後に、この場所の「谷地」という地名にもあるが、一つ森公園の南東側は低くなっており、説明資料にも水がたまっている様子があった。現在は水田なので問題ないかもしれないが、道路の冠水などが起こる可能性がないのか確認したい。

幹事

当地区は、現時点で未利用地であるが、市街化区域となっている。今回、開発業者と地権者から具体的な計画提案があったことによる変更である。

次に、市としては30代、40代のデータは把握していないが、開発業者でニーズを把握しているはずである。学区は牛島小学校、城南中学校であり、保育施設については資料の17頁に記載しているとおり、当地区内に建築可能である。

最後に、調整池についてだが、地区計画の地区施設として定めるものは決められており、そのなかには調整池は含まれていない。なお、今回は、開発事業者からの事前相談のなかで、当地区には調整池が必要であるとの認識から、参考として図面に記載している。詳細な位置、容量等については、今後の関係機関との協議になる。

委員

いままで具体的にどのような動きがあって市街化調整区域への変更をしてこなかったのか。また、本市としては、開発行為にどこまで関われるものなのか。

幹事

1点目は、市街化区域は市街地として土地利用を図るというのが基本であり、市街化区域編入当時から、何度か開発相談があり市街化調整区域への変更を見送ってきたところである。

2点目については、開発行為の技術的助言として定めた秋田市宅地開発技術指針に基づき、開発行為により整備される公共施設、公益的施設等について指導を行っている。

会 長 ほかに意見がないようなので、議決に移りたいと思う。
議案第3号について、原案どおり異議なしとしてよろしいか。

 (異議なし)

会 長 議案第3号については異議がないことを答申する。

会 長 次に議案第4号秋田都市計画下水道秋田市公共下水道(秋田地
域)の変更および議案第5号河辺都市計画下水道秋田市公共下水道
(雄和地域)の変更について、幹事から説明をお願いします。

幹 事 (議案第4号・第5号について一括して内容を説明)

会 長 ただいま幹事から説明のあった議案第4号および第5号について何
かご質問、ご意見等あるか。

委 員 議案第4号の秋田地域についてはわかったが、後半の議案第5号雄
和地域のような、ごく一部の下水道の区域の拡大について、その都度
都市計画変更をしなければならないのか?

幹 事 基本的には、拡大にあわせて都市計画変更する必要があるが、その
都度変更する訳にはいかないのが、下水道事業の認可変更併せて、ま
とめて都市計画審議会に諮っている。
なお、最終の処理場は県の施設になるため、事前に県と協議をして
いるが、その際に、事業認可の変更がある場合はその際に都市計画変
更をするようにという条件で許可されているものである。

委 員 工場の排水などは、水質基準等により、直接下水道に流すことはで
きないはずであるが、大森山の排水は問題ないのか?

幹 事 動物の糞尿を下水に流すのではなく、来場者や従業員のトイレや生
活排水を処理するために下水道に接続するものである。動物の糞尿等
は流さない。

会 長 意見がないようなので、議決に移りたいと思う。
議案第4号、議案第5号について、原案どおり異議なしとしてよろ
しいか。

 (異議なし)

会 長 議案第4号および議案第5号については異議がないことを答申す
る。
これにて議事を終了する。